

小児科研修プログラムスケジュール

- 一次募集（2017年8月中旬～9月末日）
同時に1つのプログラムにしか応募できません。
なお、一次募集に応募しなかった場合でも二次・三次募集からの応募が可能です。
ただし二次・三次募集のある施設に限ります。
- 一次採用試験（2017年10月1日～10月中旬）
各プログラムの要綱に従い受験してください。
- 一次募集と採用決定と通知（2017年10月末日）
10月末日までに各施設から一次審査の結果が送付されます。
- 専攻医の二次募集と三次募集（2017年11月中旬～2018年2月中旬）
二次募集、三次募集がある場合には応募可能です。
募集期間など、それぞれの施設の要綱に従い受験手続を行ってください。
- 学会に研究開始の登録をしてください。
必ず、日本小児科学会に研修開始の登録をします。具体的な登録方法については、採用された施設のプログラム責任者の指示に従ってください。



<プログラム概要>

本プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的とし、一定の専門領域に偏ることなく、幅広く研修します。専攻医は「小児科医は子どもの総合医である」という基本姿勢に基づいて3年間の研修を行い、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医となることをめざしてください。

当院は県内唯一の大学附属病院で、大学病院としての高度な専門医療に対応するため、各専門領域に経験豊富な専門医を有し、さらに、1次から3次までの救急患者を受け入れる体制も有しているため、小児科医として欠くことのできない救急疾患の対応、急性疾患の管理も研修できる施設です。さらに、県内全域に関連病院を有しており、急性疾患の対応と慢性疾患の初期対応を経験でき、地域の特性と病院の役割に応じて、すべての領域にわたり、もれなく経験できる体制です。

<研修予定>

研修3年間のうち1年間は和歌山県立医科大学附属病院小児センターと和歌山県立医科大学総合周産期母子医療センターで研修を行います。小児センターで感染性疾患・内分泌代謝疾患・血液腫瘍疾患・アレルギー疾患・呼吸器疾患・消化器疾患・腎泌尿器疾患・循環器疾患・神経疾患を担当医として研修し、総合周産期母子医療センターで新生児疾患・先天異常疾患・小児外科疾患を研修します。残りの2年間は原則として紀南病院で1年間、その他の関連病院で6カ月から1年間研修を行います。3年間を通じ、外来での乳児健康診査と予防接種などの小児保健・社会医学の研修と救急疾患の対応を担当医として研修します。

● ローテーション例

1年目前期	1年目後期	2年目前期	2年目後期	3年目前期	3年目後期
紀南病院(連携施設)		和歌山県立医科大学附属病院小児センター／総合周産期母子医療センター		連携施設①	連携施設②

<研修施設>

種類	研修施設名	指導医数	補足
基幹施設	和歌山県立医科大学附属病院	17	
連携施設	紀南病院	3	
	和歌山ろうさい病院	3	
	公立那賀病院	2	
	橋本市民病院	3	
	国保日高病院	1	
	新宮市立医療センター	1	
	阪南市民病院	2	大阪府
	泉大津市立病院	3	大阪府
	日赤和歌山医療センター	12	
	愛徳医療福祉センター	2	
和歌山病院	1		

